

九州支部だより



No. 123 2014年7月

掲載内容

- ◆2014年度「第14回気象教室」開催のお知らせ ～ 講演テーマ：熱帯の気象 ～
- ◆2014年度「第5回こども気象学会」開催のお知らせ ～ 9月30日まで作品を募集しています ～
- ◆2014年度第1回理事会議事録
- ◆支部会員からの便り — イエシロアリが飛び立ちたい天気 — 神原 広平（(独)森林総合研究所）
- ◆事務局からのお知らせ

「第14回気象教室」開催のお知らせ

～ 講演テーマ：熱帯の気象 ～

日本気象学会九州支部では、気象知識の普及を目指し高校生以上を対象とした「気象教室」を毎年夏に開催しています。今年は8月30日（土）に九州大学西新プラザ（福岡市早良区）で開催します。

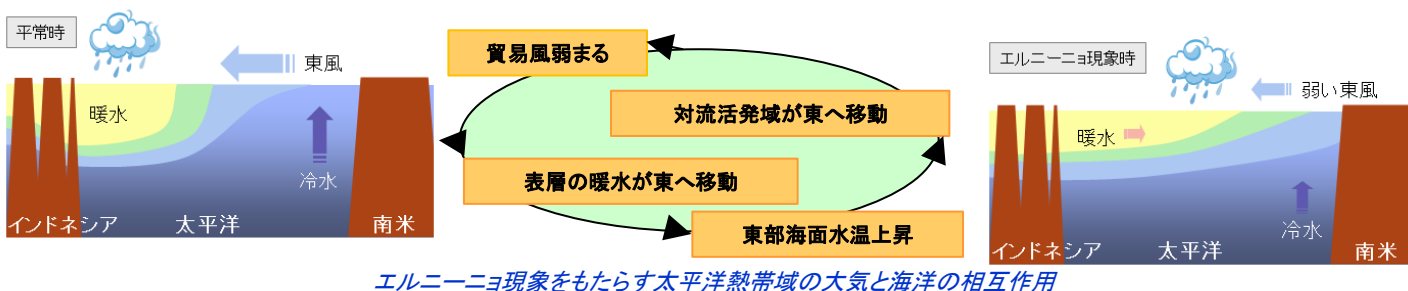
今回はテーマを「熱帯の気象」として、天候に影響を及ぼす熱帯の海洋現象（エルニーニョ現象など）の監視・予測に関する講演と、熱帯低気圧や台風などの熱帯特有の気象現象とその観測についての講演を予定しています。

気象に興味・関心のある方はどなたでも参加できますので、多数のご来場お待ちしております。

1. 講演題目・講演者

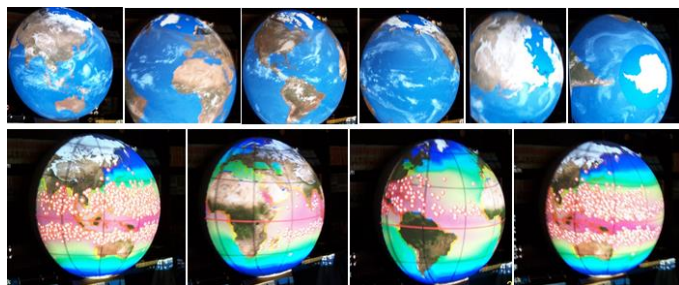
1) エルニーニョ現象の監視と予測

煤田 貴郁 氏（福岡管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 課長）

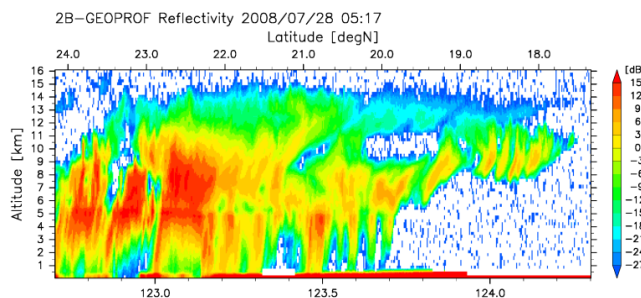


2) 熱帯の気象と観測

西 憲敬 氏（福岡大学理学部地球圏科学科 准教授）



2014年2月22日開催「第5回気象サイエンスカフェin九州」講演風景より



2008年台風第8号(2008/07/28)の断面画像(CloudSatレーダ)

2. 日 時: 2014年8月30日(土)14時～16時30分

3. 会 場: 九州大学西新プラザ
福岡市早良区西新2丁目16-23
(場所・アクセスについては左図参照)

4. 申し込み: 事前申し込みは不要
(参加費無料・定員約200名)
当日、会場に直接お越しください。

5. 問合せ先: 九州支部事務局(最終ページ参照)



【天神クリスタルビルまで】

博多駅から地下鉄「姪浜」行き乗車 約15分
地下鉄天神駅から地下鉄「姪浜」行き乗車 約8分
→いずれも、西新駅下車、⑦番出口より徒歩約10分

「第5回こども気象学会」開催のお知らせ

～ 9月30日まで作品を募集しています ～

日本気象学会九州支部では、子供たちに夏休みの自由研究や学校のクラブ活動などを通して「気象」に親しみ、自ら調べ、発表する楽しさを体験してもらうことを目的に「こども気象学会」を開催します。今年度も福岡県に住む小学生を対象に、天気・雨・台風・雲などの「気象」に関する作品を募集します。応募作品は審査員による審査を行い、優秀作品を選びます。優秀作品として選ばれた受賞者には賞状・賞品を授与します。また、受賞者には表彰・授与式において発表をしていただきます。

1. 応募資格: 福岡県内の小学校の児童

2. テーマ: 天気・雨・台風・雲などの「気象」に関するもの
気象と生活に関するもの
大雨などの気象災害から身を守ることにに関するもの

3. 応募方法: 九州支部ホームページ“第5回こども気象学会”作品募集のお知らせ”をご覧ください(http://msj-kyushu.jp/event/children2014/children2014_info.pdf)。

4. 応募締切: 平成26年9月30日(金) 必着

5. 表彰・授与式(発表会)

日 時…平成26年11月15日(土) 13時30分～

会 場…九州大学西新プラザ
(福岡市早良区西新2丁目16-23)

内 容…1)「気象」のお話し
2) 受賞者による作品紹介
3) 授賞式&記念撮影

6. 問合せ先: 九州支部事務局(最終ページ参照)



昨年度「第4回こども気象学会」表彰・授与式より

昨年度の「第4回こども気象学会」開催様様を九州支部ホームページに公開しています

- 九州支部だより No.121 ... <http://msj-kyushu.jp/file/121.pdf>
- 「第4回こども気象学会」ページ ... <http://msj-kyushu.jp/event/children2013/index.html>

日本気象学会九州支部 2014年度第1回理事会議事録

2014年度第1回九州支部理事会を下記の日時、場所にて開催しました。理事会では、第38期理事選挙の結果を受け、立候補者全て信任が確認され、理事の互選により支部長に福岡管区気象台台長の隈健一氏が選出されました。また、2013年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告を行い、2014年事業計画案及び予算案が承認されました。

日時：2014年5月27日（火）

場所：福岡国際会議場4F 小会議室407

出席：理事（隈、廣岡、弟子丸、永田、富田、辻村）、事務局（用貝、菅原、村方、山本）

理事の過半数の出席により、規約第13条に基づき理事会の成立を確認。

1. 第38期理事補充選挙の結果

選挙管理委員会の選挙結果報告により、立候補した8名の理事全てが新任され、選出された。

2. 支部長の互選等

弟子丸理事の推薦意見があり、支部規約第7条に沿って出席理事の互選により、支部長に隈健一理事が選出されました。また、常任理事に廣岡俊彦理事、弟子丸卓也理事が選出されました。

3. 2013年度事業報告

以下のとおり、事務局より報告があった。

3-1 理事会（福岡管区気象台）…第1回理事会：5月31日（JR博多シティ）

第2回理事会：12月9日（書面開催）

3-2 第13回気象教室（2013年8月3日 於：天神クリスタルビル）

当気象教室は2001年度より開催し、8月の土曜日に実施している。今回のテーマは「最近の話題」で、平成24年7月に九州北部に甚大な被害を及ぼした豪雨と、社会的に大きな関心事となっている大気汚染物質に関する話題を提供いただいた。天気（7月号）、ふくおか市政だより（8月1日号）や日本気象予報士会「てんきすと」（5、7月号）に掲載し、周知・広報に努めた。その他、博多あん・あん塾（防災士会）にも協力いただいた。参加者数は約80名で、当テーマに対する関心の高さが伺われた。

【講師・講演内容】

i) 原 由香里（九州大学応用力学研究所 地球環境力学部門 助教）

「第1講演：PM2.5とは何か？ーモデル研究から分かったこと」

ii) 加藤 輝之（気象庁気象研究所予報研究部 第三研究室 室長）

「平成24年7月九州北部豪雨の発生要因」

【後援】福岡市、日本気象予報士会西部支部

3-3 第4回こども気象学会（2013年10月27日（日） 於：九州大学西新プラザ）

今回から福岡管区気象台と共催となったので、実行委員会を立ち上げ、諸準備を行った。この連携により、事務局の負担が大幅に軽減された。

一昨年度（第3回目）からは福岡県内全ての小学校（約750校）に対して募集を行っているが、今回は各学校で選別された作品（最大3）を送っていただくこととした。その結果、応募は14校、21作品となった（第3回目は103）。

はじめに小林チカFBS福岡放送 気象キャスター（気象協会から依頼）に「気象のお話し」と題し講演をお願いした。その後、優秀作品賞受賞者（10名）による発表、最後に表彰・授与式、記念撮影を行った。また、応募作品の展示も実施した。アンケートによると、引き続き好評をいただいた。

- 【共催】福岡管区気象台
- 【後援】福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、一般財団法人日本気象協会九州支社
福岡県内全小学校へ応募チラシを配布した（福岡市教育委員会と福岡県理科教育研究会に協力をいただいた）。

3-4 第1回気象サイエンスカフェinかごしま

（2014年2月1日（土）於：鹿児島市のマルヤガーデンズ7F「シンケンススタイル キッチン」）

2013年度第1回理事会で福岡市以外でも開催できないかと議論になったことを受けて、前横山理事（前鹿児島地方気象台）の肝いりで、鹿児島地方気象台、予報士会鹿児島支部と当支部の連携により「気象サイエンスカフェinかごしま」が開催されることとなった。

【講師・講演内容】

中村 啓彦：鹿児島大学水産学部 水産学科 准教授）

「海と空はつながっている！ 黒潮と天気のコミツ〜 鹿児島の自然と生物に黒潮が与える恵み 〜」

【ファシリテータ】

大山 有布佳：MBC南日本放送 気象キャスター

渡司 陵太：KTS鹿児島テレビ 気象キャスター

【共催】鹿児島地方気象台、日本気象予報士会鹿児島支部

3-5 第5回サイエンスカフェ（2014年2月22日（土） 於：福岡市のカフェ「風街」）

一昨年度（第4回目）からは予報士会西部支部との共催により開催している。当西部支部にはファシリテータ、受付、ツイッター中継等に協力をいただいている。

予報士会西部支部や博多あん・あん塾（防災士会）への紹介の他、ふくおか市政だより（2月15日号）に掲載し、広報・周知に努めた。定員を上回る申込みがあったが、35名で締め切った。

【講師・講演内容】

西 憲敬：福岡大学理学部地球圏科学科 准教授

「熱帯の気象 〜 台風の生まれ育つところ 〜」

【ファシリテータ】

堂本 幸代：山口朝日放送 気象キャスター

【共催】日本気象予報士会西部支部

【後援】福岡市

3-6 支部発表会（2014年3月1日（土） 於：福岡天神ビル本館）

福岡市で開催した。特別講演を含め17題の発表が行われ、聴講者は約50名だった。

【特別講演 講師・講演内容】

堤之智：熊本地方気象台長

「対流圏の大気環境研究の一側面」

3-7 「九州支部だより」の発行

No.119（7月）、No.120（9月）、No.121（12月）、No.122（3月）をホームページに掲載、その旨をメールにて周知した。担当理事に「支部会員からの便り」の原稿を依頼した。

3-8 支部奨励賞

推薦された1名に対し、担当理事に選考していただき、決定した。

○平田 英隆：九州大学大学院理学府地球惑星科学専攻 修士課程2年

記念品：バリゴ温湿気圧計

3-9 支部会員数

2013年4月1日現在の会員数は190名である。会員数拡大のために、支部だよりへの入会案内の掲載や、支部発表会や気象教室などに際し、参加者に対して勧誘を行っている。しかし、支部会員数の減少傾向は変えられていない。

会員数の年推移

年	2008	2009	2010	2011	2012	2013
会員数	239	218	218	215	211	194

3-10 九州支部ホームページ

気象教室、こども気象学会、気象サイエンスカフェ、九州支部発表会の案内や九州支部だより、支部発表会の講演要旨集等を掲載している。会員専用ページには、支部だよりのバックナンバーや支部発表会の原稿、気象教室の講演資料も掲載している。なお、当ホームページはプロバイダ（さくらインターネット）と契約し、事務局で更新等の運用を行っている。

3-11 収支決算報告、会計監査報告

決算報告及び会計監査報告について、了承された。

4. 2014年度事業計画案

4-1 概要案

i) 九州支部の事業計画費（¥1,297,638）

本部からの支部交付金¥578,000 + 前年度繰越金¥634,770円

（支部交付金内訳：¥1200×190名＋支部均等割¥350,000）

【事業内容】支部理事会、気象教室、支部発表会、その他

ii) 九州支部強化基金による事業計画費（¥374,000）

【事業内容】こども気象学会、気象サイエンスカフェ in 九州・かごしま、支部奨励賞

上記 i)、ii) のとおり、事務局より提案があり、了承された。

4-2 詳細案

4-2-1 理事会

第1回：5月27日（火）17時00分～ 福岡国際会議場 4F 小会議室407

4-2-2 気象教室（第14回）

「熱帯の気象（仮）」をテーマに講師へ依頼している。若年層への参加拡大を目的に、九大・福大等の大学や高校へも広報を行う計画である。チラシだけでなく、ポスターも作成し、掲示・配布を行う予定である。

（提案事項）

i) 日時：2013年8月30日（土） 14時00分～16時30分

ii) 会場：九州大学西新プラザ2F 大会議室（福岡市）

iii) テーマと講演題目・講演者

◇今年度のテーマ：『熱帯の気象（仮）』

○ 楳田 貴郁：福岡管区気象台気象防災部地球環境・海洋課 課長
「エルニーニョ現象の監視と予測（仮）」

○ 西 憲敬：福岡大学理学部地球圏科学科 准教授
「熱帯の気象と観測（仮）」

<参考>過去のテーマ

「最近の話題から（2013）」、「気象と気候を予測する（2012）」、「台風（2011）」、「異常気象（2010）」、「局地的大雨（2009）」、「気象と環境（2008）」、

【後援（予定）】 福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、日本気象予報士会西部支部

気象教室（第14回）は、i)、ii)、iii) の内容等で実施することについて、了承された。

4-2-3 こども気象学会（第5回）

福岡県内の全小学校（約750校）へチラシを配布し、作品の応募を呼びかける。引き続き、福岡管区気象台と共同で準備等を行う予定としている。

また、引き続き、（一財）日本気象協会九州支社へ講師（気象のお話）と出展（思い出の日の天気図）の依頼を行う予定としている。

（提案事項）「こども気象学会」発表会 開催日時・会場等

i) 日時：11月15日（土）13時30分～16時00分

ii) 会場：九州大学西新プラザ（福岡市）2F大会議室

iii) 内容：①講演（気象と防災）

②優秀作品受賞者による発表

③授賞式・記念撮影

(課題)

- ・応募が、ごく少数の熱心な学校に限られている。
- ・支部の取り組みではあるが、福岡県内に留まっている。
- ・当会は、気象学会の社会貢献として理科教育の推進（理科離れの防止）に寄与することを目的に開催している。そこで、教育委員会から理科教員の気象学会への入会の促進を図る等の積極的関与を引き出し、教育委員会や学校教員との連携強化を目指す時期に来ているのかもしれない。
- ・昨年度、福岡管区気象台で定例記者レク（10月25日）開催時に、マスコミへ周知したが、反応はなかった。

こども気象学会（第5回）は、i）、ii）、iii）の内容等で実施することについて、了承された。

4-2-4 気象サイエンスカフェinかごしま（第2回）

予算を本部へ申請し、認められたので、今年度からは九州支部強化事業として実施することとなる。前回同様、予報士会鹿児島支部と鹿児島地方気象台、当支部の三機関で連携し開催を予定している。

【共催】鹿児島地方気象台、日本気象予報士会鹿児島支部

（提案事項）開催日時、会場、役割分担

i）日時：2015年2月の土曜日 15時30分～17時00分

ii）会場：鹿児島市内の喫茶店等

iii）役割分担について

◇鹿児島地方気象台…会場運営計画、シナリオ策定（テーマ・講師）、講師派遣依頼、周知・広報、当日会場の設営・運営

◇気象予報士会鹿児島支部…ファシリテータ選出、周知・広報、当日会場の設営・運営

◇気象学会九州支部…事業費支出（講師謝金・交通費）、開催に関する助言・サポート

気象サイエンスカフェinかごしま（第2回）はi）、ii）、iii）の内容で実施することについて、了承された。

4-2-5 気象サイエンスカフェin九州（第6回）

引き続き、気象予報士会西部支部と連携して開催する計画である。

（提案事項）

i）日時：2015年2月の土曜日 16時00分～17時30分

ii）会場（予定）：カフェ「風街」（福岡市）

iii）役割分担について

◇気象学会九州支部…事業費の支出、講師依頼、広報・周知等

◇気象予報士会西部支部…ファシリテーター、受付、チラシ作成等

（検討事項）講師・講演テーマ、会場

詳細に関しては、8月30（土）開催の気象教室終了後に予報士会西部支部と打合せを行い、上記役割分担とともに検討する。その時に、長所も多いが、短所も多々あるカフェの「風街」から他の場所に移すことも議論することとしたい。

【共催・後援】共催：日本気象予報士会西部支部、後援（予定）：福岡市

気象サイエンスカフェin九州（第6回）はi）、ii）、iii）の内容で実施することについて、了承された。

4-2-6 支部発表会（第36回）

例年、3月上旬（3月第1土曜日）に実施している。これまでは下記のとおり、福岡市、鹿児島市、長崎市で交互に開催しており、2014年度は鹿児島市での開催年となっている。

（提案事項）開催日時

時期：2015年3月7日（土）10：00～17：30（予定）

（検討事項）開催会場

鹿児島市開催ということをお願いしたい。

<参考>過去の開催地

2013年度：福岡市、2012年度：長崎市、2011年度：福岡市、2010年度：鹿児島市、2009年度：福岡市、2008年度：鹿児島市、2007年度：福岡市、2006年度：熊本市

支部発表会（第36回）は鹿児島市で開催することについて、了承された。

4-2-7 「九州支部だより」の発行

今年度は以下の発行を予定している。各理事には、「支部会員からの便り」に会員からの投稿依頼をお願いしたい。

- ・No.123 (6～7月：第1回理事会議事録, 「第14回気象教室」「第5回こども気象学会」開催お知らせ)
- ・No.124 (9月：「第14回気象教室」開催報告, 九州支部奨励賞の推薦依頼)
- ・No.125 (12月：「第5回こども気象学会」開催報告, 「気象サイエンスカフェin九州・かごしま」及び九州支部発表会の開催のお知らせ)
- ・No.126 (2015年3月：「気象サイエンスカフェ in 九州・かごしま」及び支部発表会の報告、支部奨励賞受賞の報告)

4-2-8 支部奨励賞

最大3名の受賞者を想定している。各理事には積極的な推薦をお願いしたい。

4-2-9 日本気象学会奨励賞受賞候補者推薦

2014年度分の推薦締め切りは、2015年2月頃と予想される。各理事には推薦をお願いしたい。推薦する場合には、事務局で調書等の資料を作成し、理事と調整の上、推薦することとしたい。

4-2-10 支部会員数

会員獲得に向けた取り組みについて、ご提案があればお願いしたい。また、入会の推奨をお願いしたい。

4-2-11 九州支部ホームページ

これまでどおり、まめに更新を行う等、よりよいHP作成を行う。

4-2-12 2014年度日本気象学会秋季大会

2012年10月から準備を開始(会場決定・仮予約)、2013年9月と10月、2014年3月に準備委員会を開催した。会場、シンポジウム、懇親会、参加費、保育施設等について検討し、決定した。これまでの進捗状況は、順調な状況である。なお、11月には秋季大会に仙台へ派遣し、視察を行っている。

(決定事項) 秋季大会開催日・会場

i) 開催日：10月21日(火)～10月23日(木) 準備日：10月20日(月)夜間

ii) 会場：福岡国際会議場(福岡市)

利用施設(会議室)対して後納申請を行っている(3月)。利用備品は、今後調整し決定する予定

※秋季大会告示内容は、大会ホームページ(<http://msj.visitors.jp/>)に掲載

(確認事項)

i) 秋季大会までの準備スケジュール

ii) 秋季大会実行委員 …計22名で構成することで計画中

福岡管区気象台：10名、九州大学：9名(理学部：5名、農学部：1名、応力研：3名)、福岡大学：3名

事務局より、概ねスケジュールに沿って、準備を進めていることの説明があった。

5. 【その他の検討事項】支部活動の担当理事について

各理事には、今年度も引き続き、以下のような担当をお願いしたい。

(担当案)

- ・支部発表会：廣岡理事(九大)、弟子丸理事(福岡管区気象台)
- ・気象教室：廣岡理事(九大)、弟子丸理事(福岡管区気象台)
- ・こども気象学会：廣岡理事(九大)、永田理事(予報士会)
- ・気象サイエンスカフェinかごしま：山里理事(鹿児島地方気象台)
- ・気象サイエンスカフェin九州：弟子丸理事(福岡管区気象台)、永田理事(予報士会)
- ・支部奨励賞：鈴木理事(山口大)、富田理事(熊大)、永田理事(予報士会)、山里理事(鹿児島地方気象台)、辻村理事(長崎地方気象台)
- ・支部だより：鈴木理事(山口大)：「支部会員からの便り」6月分を依頼予定
辻村理事(長崎地方気象台)：「支部会員からの便り」9月分を依頼予定
山里理事(鹿児島地方気象台)：「支部会員からの便り」12月分を依頼予定
富田理事(熊大)：「支部会員からの便り」3月分を依頼予定
- ・日本気象学会奨励賞：弟子丸理事(福岡管区気象台)

イエシロアリが飛び立ちたい天気

神原 広平

((独) 森林総合研究所 木材改質研究領域 研究員)

私は、森林総合研究所において「木材」を「シロアリ」の被害から守るため、シロアリの生理生態に焦点をあて研究に取り組んでおります。今回の日本気象学会九州支部だよりへの寄稿は、私が学生時代を過ごした山口大学農学部で、気象学をご教授頂いた鈴木賢士先生からの依頼によるものです。鈴木先生とは学部生の頃よりよくお話をすることがあったのですが、先生が沖縄や種子島の梅雨や東南アジアの雨を観測的な手法で研究されていたことから（本誌119号参照）、「種子島のおばあちゃんが『はねアリが3回飛ぶと梅雨明けする』って言ってたよ」、「沖縄でもタイのプーケットでも雨ががりの夕方、30分から1時間という短い時間に大量のはねアリが飛ぶんだ」という虫と天気まつわる話を聞かせて頂き、さらには「雨が降ればいつでも飛ぶわけではないんだよ」「アリは何を感じて飛ぶんだろう」と好奇心をくすぐる質問をなげかけてこられました。「昆虫」と「気象」、一見直接的な関係がないように思われるかもしれませんが、生物季節という言葉が示すように、古くから私たちの生活のなかには生物と気象が密接に関わっています。私の専門は昆虫学なので気象学は専門外ではありますが、このような機会を頂きましたので、私が鈴木先生に多大なるご協力を賜り調査した小笠原におけるイエシロアリの群飛と微気象環境のお話をさせていただきます（図1）。

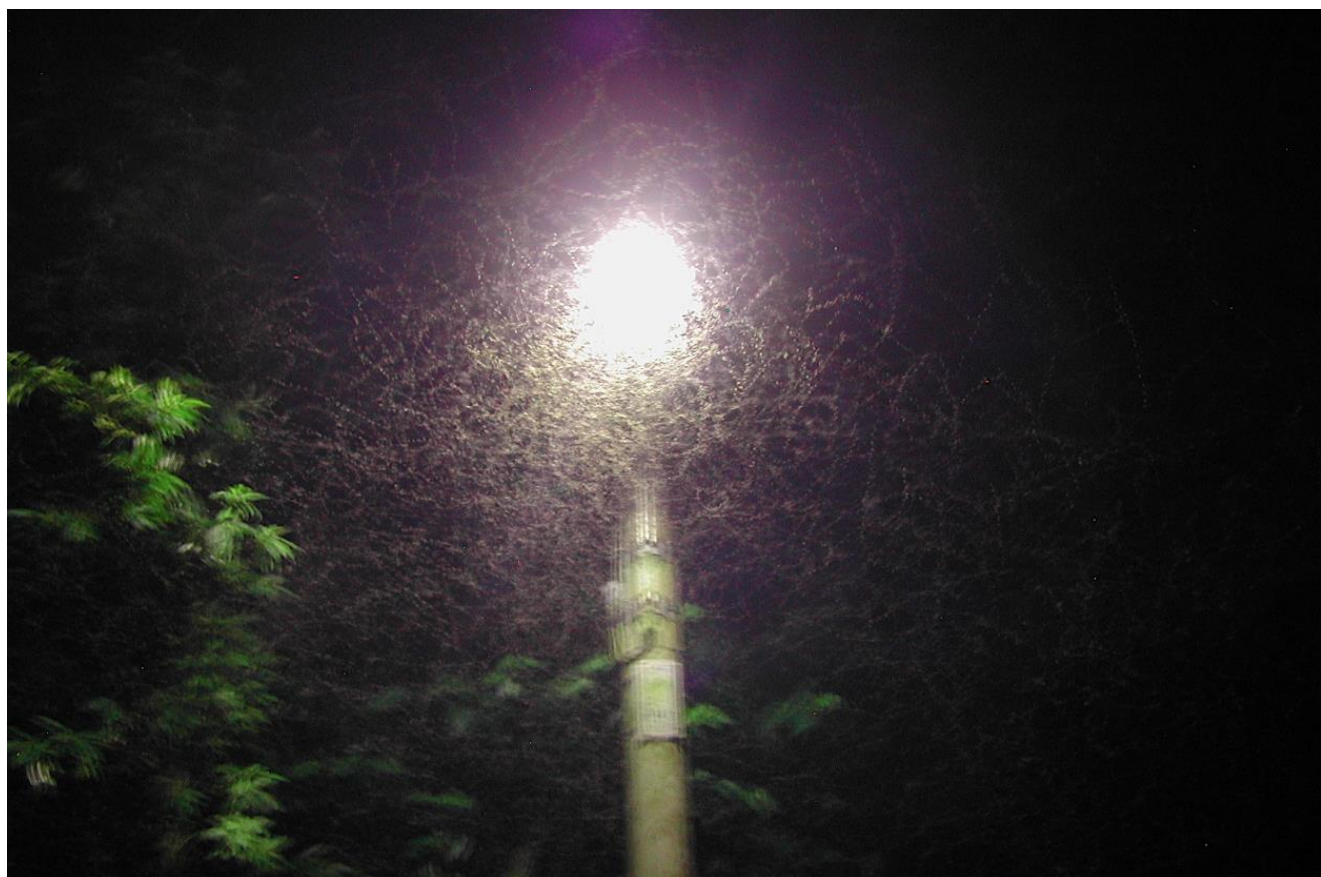


図1. 街灯にあつまるイエシロアリの有翅虫

イエシロアリ (*Coptotermes formosanus*) は木材害虫として世界中で猛威を振るっており、とくに木造住宅の多い日本においては身近な存在であり経済的被害も深刻です。シロアリは新たに性成熟した「はねアリ (有翅虫)」が交尾・営巣のために巣から一斉に飛び立つ「群飛」という行動を行います。今回調査したイエシロアリは6～7月頃に群飛するのですが、飛び立った有翅虫は街灯や人家等の明かりに誘引される性質を持っており (正の走光性)、私たちの普段の生活では目にすることが少ないシロアリの発見できる機会といえます。

小笠原諸島は、東京からおおよそ1,000 km南に位置する海洋島で島固有の動植物が多数生息していることから、2011年に世界自然遺産に登録されたことは記憶に新しいかと思います。一方で、小笠原は侵略的外来種の問題を抱えており、イエシロアリも侵入害虫として大きな被害を与えています。小笠原父島はイエシロアリの生息密度が高く、群飛時期ともなれば大量の有翅虫が街灯などに集まります (図1)。シロアリの群飛は気温や湿度、また、降雨や大気圧などの気象要因が引き金となって起こるといわれており、また、狭い地域などで遺伝的な統一がおこると群飛のタイミングが同調するともいわれています。シロアリの群飛行動に影響を与える要因を理解することは、新たに拡散したシロアリが私たちの生活圏内に飛来しないようにするといった予防技術の開発などが期待されます。そこで、私は群飛のタイミングの同調性が高いと考えられる小笠原において、正の走光性を利用した昆虫採集法であるライトトラップ法 (灯火採集法; 図2 A) を用い群飛個体数の経時変化を調べ、同時に、移動式微気象観測機 (ウェザーステーション; 図2 B) により群飛時の気温、相対湿度、地上風の風向風速の観測を行い、イエシロアリの群飛に及ぼす微気象要因の検討を行いました。

調査は2010年6月15日～17日に小笠原村父島都道240号線の長崎展望台方面へ向かう道路沿いで行いました。方法は調査地点に設置したライトトラップ装置に飛来した有翅虫を18時半から19時40分の間で10分ごとに採集し、それぞれの時間帯における個体数を数えました。ウェザーステーションはライトトラップ近傍に設置し、地上55cmの気温と相対湿度、地上140cmの地上風を10分おきに測定しました。

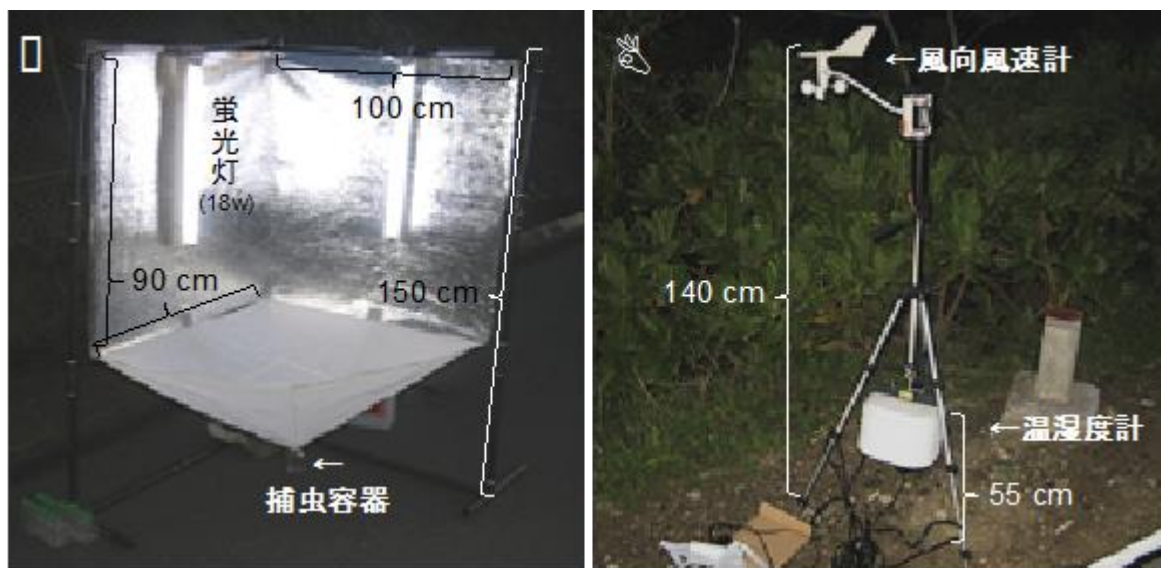


図2. ライトトラップ装置 (A) および微気象観測機 (B)

イエシロアリの群飛は調査期間中全ての日で観察されましたが、捕獲された有翅虫の総個体数は15日が610頭、16日が16,774頭、17日が17,983頭と大きく異なりました。大規模群飛がみられた16, 17日の捕獲有翅虫数の経時変化をみると、小笠原におけるイエシロアリの群飛は、おおよそ日没時刻である18時半過ぎに始まり、19時10分付近で最多となり、その後急激に減少する傾向にあり、約1時間で終息することが明らかとなりました (図3)。各調査日において観測した微気象要因をみると、平均気温は15日が25.1 °C、16日が25.7 °C、17日が26.6 °Cで、平均湿度は15日が87.6 %、16日が84.1 %、17日が78.3 %でした。これらの結果は、気温の上昇と相対湿度低下に対して群飛個体数が増加したようにみえましたが、別日に行った母島の観測結果とは異なったため群飛に影響を与える気象要因といえる関係性は確認できませんでした。一方で、地上風に関しては15日が群飛時間帯を通して0.4 m/sの風が吹いていたのに対し、大規模群飛がみられた16日と17日は群飛時間帯が無風であったことが分りました。この地上風と群飛の関係は、母島の調査においても同様の傾向にあり、風速0.4 ~ 0.9 m/sの地上風が見られた日では群飛が観察されませんでした。

6月15日

6月16日

6月17日

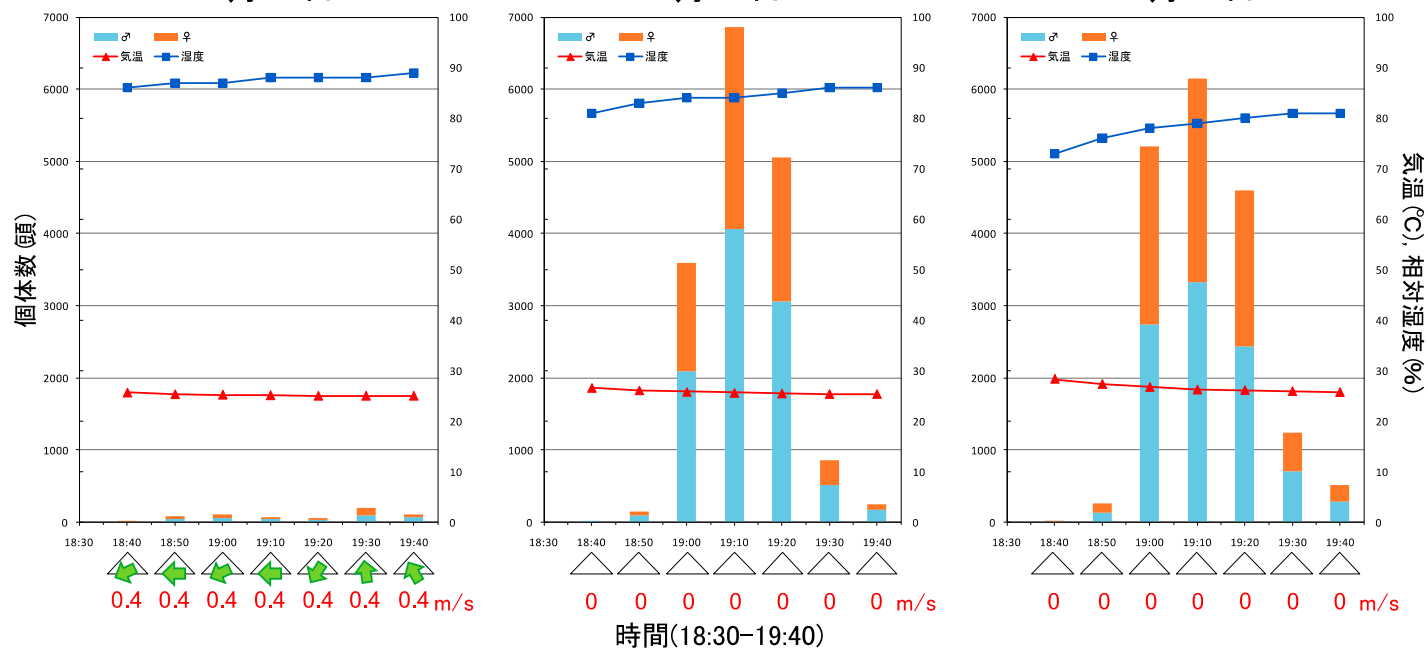


図3. ライトトラップ装置で捕獲された有翅虫数および微気象要因の経時変化

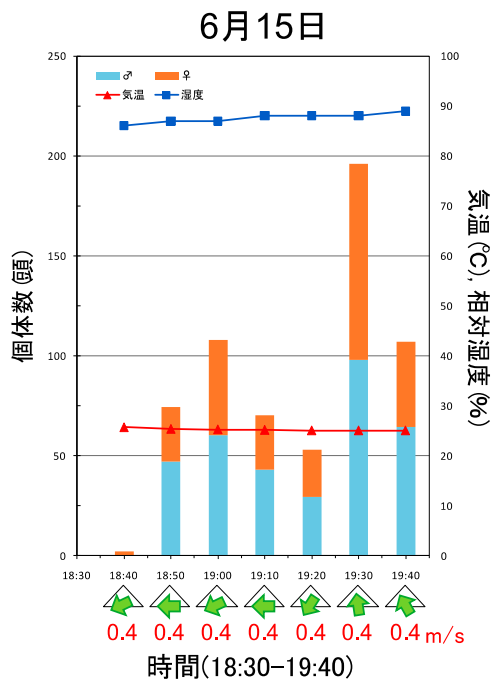


図4. ライトトラップ装置で捕獲された有翅虫数および微気象要因の経時変化

ここで小規模群飛となった15日の飛来有翅虫数を詳細にみると（図4）、大規模群飛日と異なり調査時間帯によってばらつきが確認され、ライトトラップへの飛来個体数が落ち込んだ19時20分ではトラップと逆方向の、個体数が増加した19時30分ではトラップ方向の風が吹いていました。このことから、イエシロアリの飛翔は風速0.4 m/sで大きく影響を受けることが示唆されました。

群飛日における気象庁父島気象観測所の測定値（5～6月分）をみると、イエシロアリの群飛日は風速が低かったですが、さらに全天日射量が高い傾向もみられました。今回の調査は短期的なものであり観測項目も少ない事例研究となるので、何を感じてアリが飛び立つのか？の回答を得るには至っておりませんが、風の日を避けるということはあるそうです。多くの科学分野で様々な専門的な実験機器がありますが、専門外では使用する機会が少ないと思います。今回は、昆虫学の採集方法と気象学の測定技術から得られた結果をご紹介しましたが、もう少し踏み込んで協力することにより『はねアリが3回飛ぶと梅雨明けする』という生活の中に根付いた生物と気象に基づく天気予報に科学的な答えがでるかもしれません。最後になりましたが、本誌への寄稿の機会を頂けたことに感謝申し上げますとともに、日本気象学会九州支部の益々のご発展をお祈り申し上げます。

事務局からのお知らせ

「九州支部だより」の原稿募集

「九州支部だより」への会員からの原稿を募集しています。今号では、山口大学の鈴木賢士さまからの紹介で神原広平さまより「イエシロアリが飛び立ちたい天気」のタイトルで、イエシロアリの群飛と気象との関係性について興味深い話題を提供いただきました。ありがとうございました。

九州支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、九州の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ原稿であればどのようなものでも結構ですので、支部事務局までご投稿ください。会員各位の自由な投稿をお願いします。

日本気象学会への入会勧誘

みなさんの周りに気象学を専攻している・気象関連の仕事をしている・気象に興味を持っているような方がいらしたら、日本気象学会への入会を勧めていただくようお願い致します。支部事務局へご連絡いただければ、入会方法などご案内致します。

転勤等で異動される時には

転勤等による異動の際は、新しい住所と職場名を九州支部事務局まで連絡していただくようお願い致します（電話もしくはE-mail）。本部または異動先の支部（他支部への異動のとき）への報告は当支部で行いますので、会員の方の異動先での手続きは必要ありません。

今後の予定

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| ○2014年 8月 30日（土） | 日本気象学会九州支部「第14回気象教室」 |
| ○2014年 9月 下旬 | 九州支部だより No.124 の発行 |
| ○2014年 11月 15日（土） | 「第5回こども気象学会」表彰・授与式（発表会） |

2014年7月発行
〒810-0052
福岡市中央区大濠1-2-36
福岡管区気象台内
日本気象学会九州支部
T E L 092-725-3614
F A X 092-725-3163
E-mail info@msj-kyushu.jp
ホームページ <http://msj-kyushu.jp/>